

格鳥菴杜拾集

庫	文	閣	内
一五		三一	和
函		六六	書
二架	三二冊	七號	類

内閣文庫	
番號	和 31667
冊數	32 ( 10 )
函號	151   14



Kodak Gray Scale  
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



© Kodak, 2007 TM: Kodak





和歌集... 中... 終

格鳥菴社十輯 亥七月

浪士三条退孫



浪人

村上

新太郎

公成山房 抱持

年七人



右... 定... 馬... 倉... 下... 松... 院... 了... 其... 所...

山崎... 松... 院... 了... 其... 所...



此女之實物初五時のまは合社共就れ務事の在里四時  
初命正任者より助定を以て城山等より初下りのまを中し  
望の物長成高知定史長初中より人長任者より大坂の物  
多し初との内名を合社より合社より合社より合社より  
正里村上初物所中初の合社より合社より合社より合社より  
初命正任者より初命正任者より初命正任者より初命正任者より  
正里村上初物所中初の合社より合社より合社より合社より  
初命正任者より初命正任者より初命正任者より初命正任者より  
正里村上初物所中初の合社より合社より合社より合社より  
初命正任者より初命正任者より初命正任者より初命正任者より

江戸町目  
付町茶屋  
七町元つ好

おまゝ初り山ありつり方より立寄り山中より大久の客外へ連

客つり方より立寄り山中より大久の客外へ連  
おまゝ初り山ありつり方より立寄り山中より大久の客外へ連  
おまゝ初り山ありつり方より立寄り山中より大久の客外へ連  
おまゝ初り山ありつり方より立寄り山中より大久の客外へ連  
おまゝ初り山ありつり方より立寄り山中より大久の客外へ連  
おまゝ初り山ありつり方より立寄り山中より大久の客外へ連  
おまゝ初り山ありつり方より立寄り山中より大久の客外へ連  
おまゝ初り山ありつり方より立寄り山中より大久の客外へ連  
おまゝ初り山ありつり方より立寄り山中より大久の客外へ連  
おまゝ初り山ありつり方より立寄り山中より大久の客外へ連



尺毎入立の方、竹ノ丸家、東の河柳中村の狐、刺探、序方  
を、葉の均交、其の、以方、おき、之方、何、おき、以、蛇、序、其、  
ハ、葉、葉、の、子、均、以、之、を、列、し、中、中、し、刀、を、抜、二、刀、の、り、  
燈、切、拂、束、方、互、序、方、へ、系、し、し、白、砂、子、初、以、人、存、時、故、  
在、中、上、右、上

去、は、何、移、り、

竹、島、仁、事、後、り、

此、方、板、字、軍、射、以、新、書、系、後、書、在、在、海、川、今、取、兵、隊、一、正  
市、下、南、北、花、如、屋、先、係、書、一、流、天、五、氏、成、北、無、乃、一、拍、合、  
主、可、ま、の、拂、を、し、ゆ、し、中、分、形、之、立、西、了、出、心、事、在、拍、合、  
住、原、人、想、之、高、細、作、之、也、地、存、之、上、  
右、及、水、方、の、時、限、中、一、方、之、上、

竹、島、仁、事、後、り、

海、川、中、村、の、狐、刺、探、序、方

市、下、南、北、花、如、屋、先、係、書、一、流、天、五、氏、成、北、無、乃、一、拍、合、

主、可、ま、の、拂、を、し、ゆ、し、中、分、形、之、立、西、了、出、心、事、在、拍、合、

住、原、人、想、之、高、細、作、之、也、地、存、之、上、

右、及、水、方、の、時、限、中、一、方、之、上、

去、は、何、移、り、

竹、島、仁、事、後、り、

海、川、中、村、の、狐、刺、探、序、方

市、下、南、北、花、如、屋、先、係、書、一、流、天、五、氏、成、北、無、乃、一、拍、合、

主、可、ま、の、拂、を、し、ゆ、し、中、分、形、之、立、西、了、出、心、事、在、拍、合、

住、原、人、想、之、高、細、作、之、也、地、存、之、上、

右、及、水、方、の、時、限、中、一、方、之、上、

去、は、何、移、り、

竹、島、仁、事、後、り、

海、川、中、村、の、狐、刺、探、序、方

市、下、南、北、花、如、屋、先、係、書、一、流、天、五、氏、成、北、無、乃、一、拍、合、

主、可、ま、の、拂、を、し、ゆ、し、中、分、形、之、立、西、了、出、心、事、在、拍、合、



成りて我れ神々の... 功... 下... 以... 始... 漢... 其... 此... 七... 方... 夫... 丈... 之... 之...

同示村所... 所... 所... 所... 所... 所... 所... 所... 所... 所...

同示村所... 同示村所... 同示村所... 同示村所... 同示村所... 同示村所... 同示村所... 同示村所... 同示村所... 同示村所...



其十三夜申也  
 思く所をうめかた  
 北條の事あり  
 名あり事あり人

好文其の秋書あり  
 七名の事

其年佐次修しめり  
 北條の事あり

名あり事あり人  
 北條の事あり

日永山町市前長尾事  
 新古今事あり年月

人あり事あり

七日の事あり  
 八の事あり  
 九月の事あり  
 十月の事あり  
 十一月の事あり  
 十二月の事あり

社元 六部

東三條 佐次修しめり  
 外 あり事あり人

東六條 佐次修しめり  
 あり事あり人

其の事あり  
 其の事あり  
 其の事あり

日永山町市前  
 新古今事あり年月

車心 あり事あり

七日の事あり



Handwritten text at the top of the right page, possibly a title or header.

神戶 市部  
お方 女 子

お方 女 子

お方 女 子

お方 女 子

お方 女 子

お方 女 子

お方 女 子

お方 女 子

お方 女 子

お方 女 子

お方 女 子

お方 女 子

お方 女 子

お方 女 子

お方 女 子

お方 女 子

お方 女 子

お方 女 子

お方 女 子

お方 女 子

お方 女 子

お

Main body of handwritten text on the right page, written in vertical columns.

Handwritten text on the left page, continuing the vertical columns.

お方 女 子

お方 女 子

お方 女 子

お方 女 子

お方 女 子

お方 女 子

お方 女 子

お方 女 子

お方 女 子



おつし

日永山崎町  
佐藤屋  
三月廿二日  
佐藤屋

六月廿八日  
六月廿八日  
六月廿八日  
六月廿八日  
六月廿八日

日永山崎町  
佐藤屋

三月廿二日  
佐藤屋

六月廿八日  
六月廿八日  
六月廿八日  
六月廿八日  
六月廿八日

日永山崎町  
佐藤屋

六月廿八日  
六月廿八日  
六月廿八日  
六月廿八日  
六月廿八日

日永山崎町  
佐藤屋

三月廿二日  
佐藤屋

六月廿八日  
六月廿八日  
六月廿八日  
六月廿八日  
六月廿八日

日永山崎町  
佐藤屋

三月廿二日  
佐藤屋

六月廿八日  
六月廿八日  
六月廿八日  
六月廿八日  
六月廿八日



たし無事なりと云ふ事ありしに及ばず其の北窓坊に就て  
其の事ありしを云ふ事ありしに及ばず其の北窓坊に就て  
其の事ありしを云ふ事ありしに及ばず其の北窓坊に就て

高田守

高田守  
井島守

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*

又云三平年六月の如き事ありしに及ばず其の北窓坊に就て  
其の事ありしを云ふ事ありしに及ばず其の北窓坊に就て  
其の事ありしを云ふ事ありしに及ばず其の北窓坊に就て  
其の事ありしを云ふ事ありしに及ばず其の北窓坊に就て  
其の事ありしを云ふ事ありしに及ばず其の北窓坊に就て  
其の事ありしを云ふ事ありしに及ばず其の北窓坊に就て  
其の事ありしを云ふ事ありしに及ばず其の北窓坊に就て  
其の事ありしを云ふ事ありしに及ばず其の北窓坊に就て  
其の事ありしを云ふ事ありしに及ばず其の北窓坊に就て  
其の事ありしを云ふ事ありしに及ばず其の北窓坊に就て







六月廿九日 松平大膳吉之丞

七月廿九日 七艘渡船之儀多由是後之打  
破れ古船より多し取扱之儀取扱の儀付之儀  
一、渡船之儀取扱之儀打扱之儀元之儀打扱之  
儀

（Faint bleed-through text from the reverse side of the page, mostly illegible due to fading and ghosting.)

17

○ 六月廿九日 七艘渡船之儀多由是後之打

南渡船之儀取扱之儀  
取扱之儀

取扱之儀

取扱之儀

取扱之儀

取扱之儀

取扱之儀

取扱之儀

取扱之儀

取扱之儀

取扱之儀

取扱之儀

取扱之儀

取扱之儀

取扱之儀

取扱之儀























Handwritten notes at the top of the right page, including the characters '利元' and '多'.

Main handwritten text on the right page, written in vertical columns from right to left.

長初南生

Main handwritten text on the left page, written in vertical columns from right to left.



















五月廿九日 長州侯より西へ去る舟にあり

何事候ふ所也と云ふ事あり

（Faint bleed-through text from the reverse side of the page, mostly illegible due to fading and ghosting.)

日記

その

○ 於日本神武天皇の御宇に於ては、我々も亦 神代  
 一 遠國今日神代因て巨細を記す也と物多し此れを以て此  
 道京人云ふを短京と云ふ也  
 一 今日本政府を奉る事、在りて成り日本人の心なるが如く、  
 此道に由るを以て、其政府を感歎痛哭、云ふ事あり、  
 一 此道に由るを以て、其政府を感歎痛哭、云ふ事あり、  
 一 種々の悪事をなす、毎々唯々愁歎するもの、此れを述べて、日本  
 政府に於て哀感、云々、其悪人を使所、其善人を害す、  
 一 其れを以て、情實を奉り、其善人を使所、其善人を害す、  
 一 府に於て、此民を親切に治め、其善人を使所、其善人を害す、  
 一 のを以て、此民を親切に治め、其善人を使所、其善人を害す、  
 一 日本に於て、此民を親切に治め、其善人を使所、其善人を害す、  
 一 是れを以て、此民を親切に治め、其善人を使所、其善人を害す、



さうして

一 時中東の事から外人を蒙る危険を去るに依りて横濱を合衆の既に入  
口即ち商港に開放するに依りては其の利益を均等に配分するも人民の  
利益に非ざるべしと云ふ事英國政府は日本に依りて其の利益を日英  
の間に分する事を得べきに信するに依りて

一 英國政府は其の海軍の勢力を以て日本に對し其の海軍の勢力を  
日英の英民に對し其の故に女王陛下の命を以て日本に對し其の  
と申す事を得ざるべし

一 英國政府は其の海軍の勢力を以て日本に對し其の海軍の勢力を  
日本に對し其の海軍の勢力を以て日本に對し其の海軍の勢力を  
日本に對し其の海軍の勢力を以て日本に對し其の海軍の勢力を  
日本に對し其の海軍の勢力を以て日本に對し其の海軍の勢力を

を布告せりとし其の海軍の勢力を以て日本に對し其の海軍の勢力を

一 日本は其の海軍の勢力を以て日本に對し其の海軍の勢力を  
日本に對し其の海軍の勢力を以て日本に對し其の海軍の勢力を  
日本に對し其の海軍の勢力を以て日本に對し其の海軍の勢力を  
日本に對し其の海軍の勢力を以て日本に對し其の海軍の勢力を

一 日本は其の海軍の勢力を以て日本に對し其の海軍の勢力を  
日本に對し其の海軍の勢力を以て日本に對し其の海軍の勢力を  
日本に對し其の海軍の勢力を以て日本に對し其の海軍の勢力を  
日本に對し其の海軍の勢力を以て日本に對し其の海軍の勢力を











一由は高きより下りて申す所より決まらん善きを得可し程縁し  
此と定むるも所領の申す所縁をこの一符縁を申人嚴に申  
をたひ下し

一長由をたすに利なきも長由海軍力アタテナレ及コトナリ及南  
に在るもの各國にコトナレコト元高しゆき極く南由の徳集  
令して降服せんと欲する方をたす

一ける所より申す下りて有る所の如く下し死する者も有る民を  
集めて治すも法利なきをあるより治すより便利し此縁をたす  
けし縁しと定むる下りて我の敵を申す所の内は申人たす  
我も民も我も定むる侵奪或は治す縁し向て我治す一統國係  
せり

一今我治すより申す下りて我の民を治すに在る所の下しゆき  
より各國にコトナレコト元高しゆき

相倉屋... 之縁ありて其御も

此を治すにあらむけりて是より方民の中を治すの中國を治す  
民の中を治すにあらむけりて是より方民の中を治すの中國を治す  
民の中を治すにあらむけりて是より方民の中を治すの中國を治す

○ 言月九日 其方根元よりくも云

相倉屋... 相倉屋... 相倉屋...

長尾景春  
相倉屋...

右相倉屋... 相倉屋... 相倉屋... 相倉屋... 相倉屋...  
右相倉屋... 相倉屋... 相倉屋... 相倉屋... 相倉屋...  
右相倉屋... 相倉屋... 相倉屋... 相倉屋... 相倉屋...  
右相倉屋... 相倉屋... 相倉屋... 相倉屋... 相倉屋...























日本汪進所 相州傳多港 高田事双猪製

○ 德居散 色價三核多又東の物花の相製因

物花の相製因 色價三核多又東の物花の相製因 色價三核多又東の物花の相製因

品川屋計中

品川屋計中 品川屋計中 品川屋計中 品川屋計中 品川屋計中

追跡 品川屋計中

○ 二月十日

二月十日 二月十日 二月十日 二月十日 二月十日 二月十日 二月十日 二月十日 二月十日 二月十日

二月十日 二月十日 二月十日 二月十日 二月十日 二月十日 二月十日 二月十日 二月十日 二月十日

○ 二月十日 二月十日 二月十日 二月十日 二月十日 二月十日 二月十日 二月十日 二月十日 二月十日

○ 二月十日 二月十日 二月十日 二月十日 二月十日 二月十日 二月十日 二月十日 二月十日 二月十日







井伊掃部

けまは表英中軍艦と云ふ旨分止おの由音等とて御多及  
し方下立下大の少事門て成命と云ふ旨分止御多及  
も方下立下大の少事門て成命と云ふ旨分止御多及  
方下立下大の少事門て成命と云ふ旨分止御多及

兼おきて御了方下立下大の少事門て成命と云ふ旨分止御多及  
日下立下大の少事門て成命と云ふ旨分止御多及  
日下立下大の少事門て成命と云ふ旨分止御多及  
日下立下大の少事門て成命と云ふ旨分止御多及

七

主此の旨と云ふ旨分止御多及  
の旨分止御多及  
七

法漢也船の旨分止御多及  
の旨分止御多及  
の旨分止御多及  
の旨分止御多及

此英國軍艦津島川表後舟舟百匹船中船舟大  
の旨分止御多及  
の旨分止御多及  
の旨分止御多及

年

御多及



○ 上三宗馬方人  
○ 上三宗馬方人  
○ 上三宗馬方人  
○ 上三宗馬方人

○ 上三宗馬方人  
○ 上三宗馬方人  
○ 上三宗馬方人  
○ 上三宗馬方人

○ 上三宗馬方人  
○ 上三宗馬方人  
○ 上三宗馬方人  
○ 上三宗馬方人

○ 上三宗馬方人  
○ 上三宗馬方人  
○ 上三宗馬方人  
○ 上三宗馬方人

○ 上三宗馬方人  
○ 上三宗馬方人  
○ 上三宗馬方人  
○ 上三宗馬方人

○ 上三宗馬方人  
○ 上三宗馬方人  
○ 上三宗馬方人  
○ 上三宗馬方人

○ 上三宗馬方人  
○ 上三宗馬方人  
○ 上三宗馬方人  
○ 上三宗馬方人

○ 上三宗馬方人  
○ 上三宗馬方人  
○ 上三宗馬方人  
○ 上三宗馬方人

○ 上三宗馬方人  
○ 上三宗馬方人  
○ 上三宗馬方人  
○ 上三宗馬方人

○ 上三宗馬方人  
○ 上三宗馬方人  
○ 上三宗馬方人  
○ 上三宗馬方人

○ 上三宗馬方人  
○ 上三宗馬方人  
○ 上三宗馬方人  
○ 上三宗馬方人











法園科下海名出給番し成り兼て其方在分て今人我かを待せ  
也尤け交懐夫し成り如く其方在分て今人我かを待せ  
至南に在りて今人我かを待せ  
人我かを待せ今人我かを待せ  
均す也其方在分て今人我かを待せ  
亦法其方在分て今人我かを待せ  
至法其方在分て今人我かを待せ

○ 姉妹其方在分て今人我かを待せ  
礼防其方在分て今人我かを待せ  
大樹其方在分て今人我かを待せ  
市中其方在分て今人我かを待せ  
扶其方在分て今人我かを待せ  
法其方在分て今人我かを待せ

○ 乾の 薩品 中其方在分て今人我かを待せ  
時其方在分て今人我かを待せ  
わの今其方在分て今人我かを待せ

○ 其方在分て今人我かを待せ  
如夫其方在分て今人我かを待せ  
法其方在分て今人我かを待せ  
至其方在分て今人我かを待せ

○ 一今其方在分て今人我かを待せ  
一其方在分て今人我かを待せ  
一其方在分て今人我かを待せ



一 彼は乃ち其の帝上系 天孫也 乃ち今十年 日嗣親也 乃ち其の  
一 今般大者 乃ち其の帝上系 乃ち其の帝上系 乃ち其の帝上系  
乃ち其の帝上系 乃ち其の帝上系 乃ち其の帝上系 乃ち其の帝上系

育生  
豊吉  
大月

少多 乃ち其の帝上系 乃ち其の帝上系 乃ち其の帝上系 乃ち其の帝上系  
乃ち其の帝上系 乃ち其の帝上系 乃ち其の帝上系 乃ち其の帝上系

菊列上席

酒井雅樂氏

乃ち其の帝上系 乃ち其の帝上系 乃ち其の帝上系 乃ち其の帝上系  
乃ち其の帝上系 乃ち其の帝上系 乃ち其の帝上系 乃ち其の帝上系

白書宛

抄綴  
乃ち其の帝上系

乃ち其の帝上系 乃ち其の帝上系 乃ち其の帝上系 乃ち其の帝上系  
乃ち其の帝上系 乃ち其の帝上系 乃ち其の帝上系 乃ち其の帝上系  
乃ち其の帝上系 乃ち其の帝上系 乃ち其の帝上系 乃ち其の帝上系

乃ち其の帝上系

乃ち其の帝上系

乃ち其の帝上系 乃ち其の帝上系 乃ち其の帝上系 乃ち其の帝上系  
乃ち其の帝上系 乃ち其の帝上系 乃ち其の帝上系 乃ち其の帝上系

乃ち其の帝上系 乃ち其の帝上系 乃ち其の帝上系 乃ち其の帝上系  
乃ち其の帝上系 乃ち其の帝上系 乃ち其の帝上系 乃ち其の帝上系



いり

○内令及撰表の行邪大和院

行軍 祚武年 山陵

春の社巧 所祥 似由道夏

出取 心軍 儀 命 止 上

神宮 均 幸 事

存 道 事

存 道 事

存 道 事 在 京 院 儀 廣 忠 奉 内 務 宗 氏 撰 子

*[Faint bleed-through text from the reverse side]*

○京 院 長 門 幸 抄

延 和 白 時 撰 抄 延 和 白 時 撰 抄 延 和 白 時 撰 抄

○同 下 長 州 幸 抄

延 和 白 時 撰 抄 延 和 白 時 撰 抄 延 和 白 時 撰 抄

延 和 白 時 撰 抄 延 和 白 時 撰 抄 延 和 白 時 撰 抄

延 和 白 時 撰 抄 延 和 白 時 撰 抄 延 和 白 時 撰 抄

延 和 白 時 撰 抄 延 和 白 時 撰 抄 延 和 白 時 撰 抄

延 和 白 時 撰 抄 延 和 白 時 撰 抄 延 和 白 時 撰 抄

延 和 白 時 撰 抄 延 和 白 時 撰 抄 延 和 白 時 撰 抄























ち清き... 徳川... 後大... 小... 凡... 大... 内... 十... 南...

○ 徳川... 文...

徳川... 文...

以... 之... 文...

文...

○ 徳川... 文...

徳川... 文...

在... 之... 文...

文...

○ 一... 之... 文...

徳川... 文...

徳川... 文...



























おのりま

おのりま

今更の夜、向て北の道に接する。おのりま、先んて民が好  
 りのりま、こゝに居る。おのりま、先んて民が好  
 ぬ。おのりま、先んて民が好  
 方、おのりま、先んて民が好  
 五、おのりま、先んて民が好  
 相、おのりま、先んて民が好  
 先、おのりま、先んて民が好  
 三、おのりま、先んて民が好  
 の、おのりま、先んて民が好  
 写、おのりま、先んて民が好

ち、おのりま、先んて民が好  
 ち、おのりま、先んて民が好

おのりま、先んて民が好









